

単位数 /配当時 数	児童生徒		担当者		
0.5 /17.5	高等部1年訪問Ⅱ課程				
目標：(知及技)知識及び技能 (思判表力)思考力、判断力、表現力等 (学・人)学びに向かう力・人間性等 評価：(知・技)知識・技能 (思・判・表)思考・判断・表現 (主学)主体的に学習に取り組む態度					
年間目標	(知及技)曲想と音楽の構造などとの関わりについて理解するとともに、創意工夫を生かした音楽表現をするために必要な歌唱、器楽、創作、身体表現の技能を身に付けるようにする。(高1段階) (思判表力)音楽表現を創意工夫することや、音楽のよさや美しさを自分なりに見いだしながら音楽を味わって聴くことができるようにする。(高1段階) (学・人)音楽活動の楽しさを体験することを通して、音楽文化に親しみ、音楽経験を生かして生活を明るく豊かなものにしていく態度を養う。(高1段階)				
学期	時数	単元・題材の目標	単元・題材の評価規準	単元・題材名	単元・題材の活動内容
1 学期	6	(知及技)曲の速度やリズム、曲想に合わせて表現する技能を身に付けることができる。(高1段階A工(ウ)㊟) (思判表力)身体表現についての知識や技能を得たり生かしたりしながら、身体表現を創意工夫できる。(高1段階A工(イ)㊟) (学・人)主体的・協動的に身体表現に取り組むことができる。(高1段階ウ)	(知・技)曲の速度やリズム、曲想に合わせて表現する技能を身に付けようとしている。 (思・判・表)身体表現についての知識や技能を得たり生かしたりしながら、身体表現しようとしている。 (主学)主体的・協動的に身体表現に取り組もうとしている。 【評価資料】活動・実技の様子と感想発表、振り返りシートで評価する。	身体表現「リズムを楽しもう」 (4～5月)	・複数の音符を用いたリズム打ちや音符の理解について学習する。 ・音楽に合わせてカップスでリズム表現をする。
		(知及技)曲想と音楽の構造や歌詞の内容との関わりについて理解できる。(高1段階Aア(イ)㊟) (思判表力)歌唱表現についての知識や技能を得たり生かしたりしながら、歌唱表現を創意工夫できる。(高1段階Aア(ア)㊟) (学・人)主体的・協動的に歌唱表現に取り組むことができる。(高1段階ウ)	(知・技)曲想と音楽の構造や歌詞の内容との関わりについて理解しようとしている。 (思・判・表)歌唱表現について知識や技能を得たり生かしたりしながら、歌唱表現のを創意工夫しようとしている。 (主学)主体的・協動的に歌唱表現に取り組もうとしている。 【評価資料】活動・実技の様子と感想発表、振り返りシートで評価する。	歌唱「平和について考えよう」 (5～6月)	・歌詞の理解や演奏と歌唱、鑑賞のマネーについて学習する。 ・校歌の歌詞の内容を知り、平和な環境で学習できる
		(知及技)多様な楽器の音色と演奏の仕方との関わりについて理解できる。(高1段階Aイ(イ)㊟) (思判表力)器楽表現についての知識や技能を得たり生かしたりしながら、器楽表現を創意工夫できる。(高等部1段階Aイ(ア)㊟) (学・人)主体的・協動的に器楽表現に取り組むことができる。(高1段階ウ)	(知・技)多様な楽器の音色と演奏の仕方との関わりについて理解しようとしている。 (思・判・表)器楽表現についての知識や技能を得たり生かしたりしながら、器楽表現の創意工夫しようとしている。 (主学)主体的・協動的に器楽表現に取り組もうとしている。 【評価資料】活動・実技の様子と感想発表、振り返りシートで評価する。	器楽「器楽合奏に挑戦しよう」 (5～7月)	・楽器演奏体験をする。(楽器の名称、楽器の特徴) ・奏法について学習する。(個人練習、パート練習、合奏) ・指揮の注視について学ぶ。
2 学期	7	(知及技)多様な楽器の音色と演奏の仕方との関わりについて理解できる。(高1段階Aイ(イ)㊟) (思判表力)器楽表現についての知識や技能を得たり生かしたりしながら、器楽表現を創意工夫できる。(高等部1段階Aイ(ア)㊟) (学・人)主体的・協動的に器楽表現に取り組むことができる。(高1段階ウ)	(知・技)多様な楽器の音色と演奏の仕方との関わりについて理解しようとしている。 (思・判・表)器楽表現についての知識や技能を得たり生かしたりしながら、器楽表現を創意工夫しようとしている。 (主学)主体的・協動的に器楽表現に取り組もうとしている。 【評価資料】活動・実技の様子と感想発表、振り返りシートで評価する。	器楽「器楽合奏を楽しもう」 (9～11月)	・楽器演奏体験(楽器の名称、楽器の特徴) ・奏法について(個人練習、パート練習、合奏) ・指揮の注視について
		(知及技)創意工夫を生かした表現で旋律や音楽をつくるために必要な、課題や条件に沿った音の選択や組合せなどの技能を身に付けることができる。(高1段階Aウ(ウ)㊟) (思判表力)創作表現についての知識や技能を得たり生かしたりしながら、創作表現を創意工夫できる。(高1段階Aウ(ア)㊟) (学・人)主体的・協動的に創作の学習に取り組むことができる。(高1段階ウ)	(知・技)創意工夫を生かした表現で旋律や音楽をつくるために必要な、課題や条件に沿った音の選択や組合せなどの技能を身に付けようとしている。 (思・判・表)創作表現についての知識や技能を得たり生かしたりしながら、創作表現を創意工夫しようとしている。 (主学)主体的・協動的に創作の学習に取り組もうとしている。 【評価資料】学習の様子と感想発表、振り返りシートで評価する。	創作「曲作りに挑戦しよう」 (11月～12月)	・音楽創作アプリ等を使用し、旋律及リズムパートの創作を行う。
3 学期	4.5	(知及技)曲想と音楽の構造や歌詞の内容との関わりについて理解できる。(高1段階Aア(イ)㊟) (思判表力)歌唱表現についての知識や技能を得たり生かしたりしながら、歌唱表現を創意工夫できる。(高1段階Aア(ア)㊟) (学・人)主体的・協動的に歌唱表現に取り組むことができる。(高1段階ウ)	(知・技)曲想と音楽の構造や歌詞の内容との関わりについて理解しようとしている。 (思・判・表)歌唱表現について知識や技能を得たり生かしたりしながら、歌唱表現を創意工夫しようとしている。 (主学)主体的・協動的に歌唱表現に取り組もうとしている。 【評価資料】活動の様子と感想発表、振り返りシートで評価する。	歌唱「気持ちを込めて歌おう」 (1～3月)	・発声練習、歌詞の理解、強弱記号の理解と意識
		(知及技)曲想及びその変化と、音楽の構造との関わりについて理解できる。(高1段階Bア(イ)㊟) (思判表力)鑑賞についての知識を得たり生かしたりしながら、曲や演奏のよさなどを見だし、曲全体を味わって聴くことができる。(高1段階Bア(ア)㊟) (学・人)主体的・協動的に鑑賞の学習に取り組むことができる。(高1段階ウ)	(知・技)曲想及びその変化について理解しようとしている。 (思・判・表)鑑賞についての知識を得たり生かしたりしながら、曲全体を味わって聴こうとしている。 (主学)主体的・協動的に鑑賞の学習に取り組もうとしている。 【評価資料】学習の様子と感想発表、振り返りシートで評価する。	鑑賞「曲の特徴について発表してみよう」(2～3月)	・クラシックや宗教音楽、民族音楽など色々なジャンルの曲を鑑賞する。 ・生徒同士で感じたこと等を話し合う場を設定し、曲の特徴についてグループ毎に発表6する。
総時数	17.5				

単位数 /配当時 数	児童生徒		担当者		
0.5 /17.5	高等部1年訪問Ⅱ課程				
目標：(知及技)知識及び技能 (思判表力)思考力、判断力、表現力等 (学・人)学びに向かう力・人間性等 評価：(知・技)知識・技能 (思・判・表)思考・判断・表現 (主学)主体的に学習に取り組む態度					
年間目標 (知及技) 家族・家庭の機能について理解し、生活の自立に必要な家族・家庭・衣食住、消費や環境等についての基礎的な理解を図るとともに、それらに係る技能を身に付けるようにする。(高1段階) (思判表力) 家庭や地域における生活の中から問題を見いだして課題を設定し、解決策を考え、実践を評価・改善し、考えたことを表現するなど、課題を解決する力を養う。(高1段階) (学・人) 家族や地域の人々との関わりを通して、よりよい生活の実現に向けて、生活を工夫し考えようとする実践的な態度を養う。(高1段階)					
学期	時数	単元・題材の目標	単元・題材の評価規準	単元・題材名	単元・題材の活動内容
1 学期	6	(知及技) 自分の成長と家族や家庭生活との関わりがわかり、家庭生活が家族の協力によって営まれていることに気付くことができる。(高1段階A(ア)) (思判表力) 家族とのよりよい関わり方について考え、表現することができる。(高1段階A(イ)) (学・人) 家庭生活で自分ができることに取り組む意欲をもつ。(高1段階ウ)	(知・技) 自分の成長と家族や家庭生活との関わりがわかり、家庭生活が家族の協力によって営まれていることに気付くことができる。 (思・判・表) 家族とのよりよい関わり方について考え、表現しようとしている。 (主学) 家庭生活で自分ができることに取り組む意欲をもつ。	【わたしの家庭生活】(4月) 1 これまでの家庭生活 (1) あなたの家庭生活 (2) あなたの家庭での役割 2 これからの家庭生活 (1) 自分自身について考えてみよう (2) 自立した生活を目指して	・家庭や家族の基本的な機能について考える。 ・家庭や家族の大切さについて考える。 ・自分の成長を考える。 ・自分と家族との生活を振り返り、高校生としての自立について考える。
		(知及技) 健康管理や余暇の有効な過ごし方について理解し、実践することができる。(高1段階Aウ(ア)) (思判表力) 健康管理や余暇の有効な過ごし方について考え、表現することができる。(高1段階Aウ(イ)) (学・人) 家庭生活で自分ができることに取り組む意欲をもつ。(高1段階ウ)	(知及技) 健康管理や余暇の有効な過ごし方について理解し、実践しようとしている。 (思判表力) 健康管理や余暇の有効な過ごし方について考え、表現しようとしている。 (学・人) 家庭生活で自分ができることに取り組む意欲をもつ。	【余暇の過ごし方】(5月) 1 余暇を楽しく過ごす 【評価資料】 活動の様子と発表、振り返りシートで評価する。	・休日のスケジュールを書き、充実した休日を過ごせるよう考える。 ・健康管理方法について知る。
2 学期	7	(知及技) 衣服と社会生活との関わりが分かり、目的に応じた着用、個性を生かす着用及び衣服の適切な選択について理解できる。(高1段階Bウ(ア)) (思判表力) 衣服の選択について考え、工夫することができる。(高1段階Bウ(イ)) (学・人) 実生活を通じて、よりよい衣生活の実現に向けて工夫し、実践できる。(高1段階ウ)	(知・技) 衣服と社会生活との関わりが分かり、目的に応じた着用、個性を生かす着用及び衣服の適切な選択について理解しようとしている。 (思・判・表) 衣服の選択について考え、工夫しようとしている。 (主学) 実生活を通じて、よりよい衣生活の実現に向けて工夫し、実践しようとしている。	【被服】(9～10月) 1 季節や場面に合わせた服装 (1) 季節の変化に応じた服装 (2) TP0に合わせた服装	・衣服には社会生活上の働きがあることを知り、目的に応じた着用や個性を生かす着用について考える。 ・おしゃれと身だしなみの違いについて考える。
		(知及技) 目的に応じた縫い方及び用具の安全な取扱いについて理解し、適切にできる。(高1段階Bエ(ア)) (思判表力) 目的に応じた縫い方について考え、工夫することができる。(高1段階Bエ(イ)) (学・人) 布を用いた製作の完成に向けて工夫し、実践できる。(高1段階ウ)	(知・技) 目的に応じた縫い方及び用具の安全な取扱いについて理解し、適切に行おうとしている。 (思・判・表) 目的に応じた縫い方について考え、工夫しようとしている。 (主学) 布を用いた製作の完成に向けて工夫し、実践しようとしている。	【被服】(11～12月) 5 衣服の補習	・基礎縫い(玉結び・玉止め・なみ縫い)の技術を活用し、小物を製作する。 ・針と糸を用いない補修について学ぶ。 ・教材動画等を見ながら、作業を行う。
3 学期	4.5	(知及技) 購入方法や支払方法の特徴が分かり、計画的な金銭管理の必要性に気付くことができる。(高1段階C(ア)) (思判表力) 物資・サービスの選択に必要な情報の収集・整理ができる。(高1段階C(イ)) (学・人) 実生活を振り返り、よりよい消費生活の実現に向けて、自己の課題に気づくことができる。(高1段階ウ)	(知・技) 購入方法や支払方法の特徴が分かり、計画的な金銭管理の必要性に気付くことができる。 (思・判・表) 物資・サービスの選択に必要な情報の収集・整理しようとしている。 (主学) 実生活を振り返り、よりよい消費生活の実現に向けて、自己の課題に気づく。	【ライフスタイルと環境】(1月) 2 計画的な消費生活 (1) 商品を選ぶ (2) 購入方法を知る	・店舗販売・無店舗販売・通信販売等の利点と注意点を理解する。 ・商品を購入する際の注意点について考え、実際に物資・サービスの情報収集を行う。
総時数	17.5				

単位数 /配当時 数	児童生徒		担当者		
0.5 /17.5	高等部1年訪問Ⅱ課程				
目標：(知及技)知識及び技能 (思判表力)思考力、判断力、表現力等 (学・人)学びに向かう力・人間性等 評価：(知・技)知識・技能 (思・判・表)思考・判断・表現 (主学)主体的に学習に取り組む態度					
年間目標 (知及技) 音声や文字、語彙、表現などについて日本語と外国語との違いに気付くとともに、読むこと、書くことに慣れ親しみ、聞くこと、話すことを中心とした実際のコミュニケーションにおいて活用できる基礎的な力を身に付けるようにする。(高1段階) (思判表力) コミュニケーションを行う目的や場面、状況などに応じて、身近で簡単な事柄について、聞いたり話したりするとともに、音声で十分に慣れ親しんだ外国語の語彙などを真似ながら読んだり、外国語の文字をなぞって書いたりして、自分の考えや気持ちなどを伝え合うことができる基礎的な力を養う。(高1段階) (学・人) 外国語の背景にある文化について理解し、相手に配慮しながら、主体的に外国語を用いてコミュニケーションを図ろうとする態度を養う。(高1段階)					
学期	時数	単元・題材の目標	単元・題材の評価規準	単元・題材名	単元・題材の活動内容
1 学期	6	(知及技) 英語の音声及び簡単な語句や表現などについて、日本語との違いに気付くことができる。(高1段階ア(ア)) (思判表力) 簡単な事柄について、伝えようとした内容を整理した上で、簡単な語句などを用いて自分の考えや気持ちなどを伝え合うことができる。(高1段階イ(ア)) (学・人) アルファベットや身の周りにある英語に関心を持ち、主体的に意味を理解することができる。(高1段階ウ)	(知・技) 英語の音声及び簡単な語句や表現などについて、日本語との違いを意識しようとしている。 (思・判・表) 簡単な事柄について、伝えようとした内容を整理した上で、簡単な語句などを用いて自分の考えや気持ちを伝えようとしている。 (主学) アルファベットや身の周りにある英語に関心を持ち、主体的に意味を理解しようとしている。	○英語の基礎・基本(4月・5月) ・アルファベットの確認、自己紹介、挨拶 ・主語について ・動詞について	・大文字、小文字を書く練習。 ・日付や天気、身近な話題をテーマに会話練習をする。 ・自分の趣味、好きな事を説明する。 ・朝・昼・夜それぞれに応じた挨拶を理解する。 ・主語(私やあなた)を英語で理解する。 ・身近な動詞に触れる。
		(知及技) 英語の音声や文字を見て読んだり書いたりして日本語の音声や文字などとの違いに気付くことができる。(高1段階ア(ア)②) (思判表力) 挨拶を交わしたり、簡単な指示で依頼をして、それらに応じたり答えたりすることができる。(高1段階ウ(ウ)ア) (学・人) 挨拶を交えた簡単な会話を練習することができる。(高1段階ウ)	(知・技) 英語の音声や文字を見て読んだり書いたりして日本語の音声や文字などとの違いに気付くことができる。 (思・判・表) 挨拶を交わしたり、簡単な指示で依頼をして、それらに応じたり答えたりしようとしている。 (主学) 挨拶を交えた簡単な会話を主体的に練習している。 【評価資料】活動の様子、学習プリント、ALTとのやり取り	○Unit1 Grade 学年(6・7月) ・英語の数字 ・I+be動詞+感情 ・主語+動詞+述語 ・疑問詞(WhatやWhere)の疑問文 ・英語を使ったやり取りとスピーチ ○Summer Vacation 夏休み	・WhatやWhereを用いた疑問文に対してジェスチャー+F2などを通してやり取りやスピーチを行う。 ・OneやFirstの英語の違いに触れる ・夏休みについてALTとやり取りができる
2 学期	7	(知及技) 英語の音声及び簡単な語句や基本的な表現について、日本語との違いに気付くことができる。(高1段階ア(ア)) (思判表力) 簡単な事柄について、語句や基本的な表現を聞き、それらを表すイラストや写真などを結びつけることができる。(高1段階ウ①(ア)ア) (学・人) 英語の音声及び簡単な語句や基本的な表現について、日本語との違いに気付くことができ、主体的に表現の幅を広げることができる。(高1段階ウ)	(知・技) 英語の音声及び簡単な語句や基本的な表現について、日本語との違いに気付くことができる。 (思・判・表) 簡単な事柄について、語句や基本的な表現を聞き、それらを表すイラストや写真などを結びつけようとしている。 (主学) 英語の音声及び簡単な語句や基本的な表現について、日本語との違いに気付くことができ、主体的に表現の幅を広げようとしている。	○Unit3 Birthday 誕生日(11月) ・月・曜日・年 ・疑問詞(When)の疑問文 ・英語を使ったやり取りとスピーチ ○Christmas クリスマス ○Winter Vacation 冬休み(12月)	・Whenを用いてジェスチャーなどで相手に質問したり、やり取りをすることができる。 ・実際のカレンダーを使って月・曜日や日付が分かる。 ○外国の異文化理解・クリスマスについてALTとやり取りをすることができる
		(知及技) 簡単な語句や基本的な表現などが表す内容を知り、それらを使うことで要件が相手に伝わることに気付くことができる。(高1段階ア(ア)ウ) (思判表力) 自らのことについて、伝えようとした内容を整理した上で、簡単な語句などを用いて自分の考えや気持ちを伝えることができる。(高1段階イ(ア)) (学・人) 簡単な語句や基本的な表現などを主体的に活用することができる。(高1段階ウ)	(知・技) 簡単な語句や基本的な表現などが表す内容を知り、それらを使うことで要件を相手に伝えようとしている。 (思・判・表) 自らのことについて、伝えようとした内容を整理した上で、簡単な語句などを用いて自分の考えや気持ちを伝えようとしている。 (主学) 簡単な語句や基本的な表現などを主体的に活用しようとしている。 【評価資料】活動の様子、学習プリント	○Unit5 Family 家族(2・3月) ・英語「～がいる、～がある」 ・前置詞(on, in, between, in front of, behindなど) ・英語を使ったやり取りとスピーチ	・Unit2 前置詞(by)の既習事項から発展させて、There is/areを用いて○○が○○にある」の表現に関して、具体物を用いて理解することができる。 ・前置詞を用いて物がどこにあるのか英語で表現することができる。
総時数	17.5				

単位数 / 配当時 数	児童生徒		担当者		
1 / 35	高等部1年訪問Ⅱ課程				
目標：(知及技)知識及び技能 (思判表力)思考力、判断力、表現力等 (学・人)学びに向かう力・人間性等 評価：(知・技)知識・技能 (思・判・表)思考・判断・表現 (主学)主体的に学習に取り組む態度					
(知及技) 社会生活に必要な国語の知識や技能を身に付けるとともに、我が国の言語文化に親しむことができるようにする。(高1段階) (思判表力) 筋道立てて考える力や豊かに感じたり想像したりする力を養い、社会生活における人との関わりの中で伝え合う力を高め、自分の思いや考えをまとめることができるようにする。(高1段階) (学・人) 言葉がもつよさを認識するとともに、幅広く読書をし、国語を大切に、思いや考えを伝え合おうとする態度を養う。(高1段階)					
学期	時数	単元・題材の目標	単元・題材の評価規準	単元・題材名	単元・題材の活動内容
1 学期	12	(知及技) 幅広く読書に親しみ、読書が、必要な知識や情報を得ることに役立つことに気付くことができる。(高1段階ウ) (思判表力) 登場人物の行動や心情などについて、叙述を基に捉えることができる。(高1段階Cア) (学・人) 登場人物の心情を読み取り、自分と照らし合わせて想像することができる。(高1段階ウ)	(知・技) 幅広く読書に親しみ、読書が、必要な知識や情報を得ようとしている。 (思・判・表) 登場人物の行動や会話、地の文などから心情が表れている部分を選び取り、自分のことを手がかりとして登場人物の心情を理解しようとしている。 (主学) 登場人物の心情を読み取り、自分と照らし合わせて想像している。	物語、絵本 ・詩	・場面の様子の変化を表す語句の抽出、意味の確認。 ・人物の行動や心情を表す語句の抽出、読み取り。 ・時間を表す語句、接続語などの抽出、文や文章の構造や展開の確認。
		(知及技) 相手を見て話したり聞いたりするとともに、間の取り方などに注意して話することができる。(高1段階ア(イ)) (思判表力) 相手に伝わるように、言葉の抑揚や強弱、間の取り方などを工夫することができる。(高1段階A工) (学・人) 言葉がもつよさを認識するとともに、思いや考えを伝え合おうとすることができる。(高1段階ウ)	(知・技) 相手を見て話したり聞いたりするとともに、声の大きさや間の取り方に注意して話そうとしている。 (思・判・表) 相手に伝わるように、言葉の抑揚や強弱、間の取り方などを工夫している。 (主学) 話し言葉と書き言葉を意識し、思いや考えを理解しようとしている。	身近な物の名前クイズ ・言葉遊び	・食べ物や乗り物の名前のマッチング、意味の確認 ・沖縄や日本の諸地域の民謡の紹介、音読
2 学期	7.5	(知及技) 日常よく使われる敬語を理解し使うことができる。(高1段階ア(カ)) (思判表力) 相手に伝わるように、言葉の抑揚や強弱、間の取り方などを工夫することができる。(高1段階A工) (学・人) 相手や場面に応じて敬語を使い分けて話することができる。(高1段階ウ)	(知・技) 目上の人や場面に応じて尊敬語や謙譲語を使おうとしている。 (思・判・表) 相手との親疎や場の状況などに応じて、声の出し方や言葉遣い、視線などに気をつけて話そうとしている。 (主学) 相手や場面に応じて敬語を使い分けて話そうとしている。 【評価資料】活動の様子、発表、振り返りシート	「敬語」 ～場に応じた言葉づかいについて知ろう～	・場面に応じた挨拶や言葉遣いを知る。 ・具体的な場面を設定し、相手を意識した言葉遣いや態度を理解する。 ・敬語を使うことで適切な人間関係が気づけることを理解する。
		(知及技) 社会生活に係る人とのやり取りを通して、言葉には、考えたことや思ったことを表す働きがあることに気付くことができる。(高1段階ア(ア)) (思判表力) 相手に伝わるように、言葉の抑揚や強弱、間の取り方などを工夫することができる。(高1段階A工) (学・人) 我が国の言語文化に親しみをもち、理解したり、使うことができる。(高1段階ウ)	(知・技) 社会生活に係る人とのやり取りを通して、言葉には、思いや考えをまとめたり、周りの人に伝える働きがあることに気付いている。 (思・判・表) 相手に伝わるように、言葉の抑揚や強弱間の取り方などを工夫しようとしている。 (主学) 我が国の言語文化に親しみをもち、理解したり、使うおうとしている。 【評価資料】活動の様子、まとめ、振り返りシート	「しまくとぅばに親しむ」 ～身近なしまくとぅばを理解しよう～	・しまくとぅばの日の由来を知る。 ・しまくとぅばの会話を聞いてしまくとぅばの雰囲気を楽しむ。 ・しまくとぅばはかるたで単語を学ぶ。
3 学期	9	(知及技) 文章の構成や内容の大体を意識しながら音読することができる。(高1段階ア(キ)) (思判表力) 登場人物の心情や情景について、場面と結び付けて具体的に想像することができる。(高1段階Cウ) (学・人) 相手に伝わるように、工夫して朗読することができる。(高1段階ウ)	(知・技) 内容を意識しながら読むときの速さや声の大きさ、声の調子を工夫して音読している。 (思・判・表) 場面の様子や心情が伝わるように工夫して朗読しようとしている。 (主学) 相手に伝わるように、工夫して朗読している。また、暗唱しようとしている。	「詩に親しむ」 ～教師の音読を聞いて感じたことを伝え合おう～	・場面ごとに区切り、朗読をして詩の内容を理解する。 ・言葉の響きやリズムを楽しむ。
		(知及技) 生活に身近なことわざや慣用句を知り、使うことができる。(高1段階ウ(ア)) (思判表力) 目的に応じて、話題を決め、集めた材料を比較するなど伝え合うために必要な事柄を選ぶことができる。(高1段階A・イ) (学・人) ことわざや慣用句を自分の経験や生活の場面で使うことができる。(高1段階ウ)	(知・技) ことわざや慣用句を自分の経験や生活の場面で使おうとしている。 (思・判・表) 目的に応じて、話題を決め、集めた材料を比較するなど伝え合うために必要な事柄を選ぶことができる。 (主学) ことわざや慣用句を自分の経験や生活の場面で使おうとしている。	「ことわざや慣用句を学ぼう」 ～生活の中で使われている言葉を探そう～	・生活の中でよく使うことわざや慣用句を示す。 ・教訓や防災に関することわざについて知る。 ・音読や暗唱を聞く。 ・慣用句や音読の違いを知る。
総時数	28.5				

単位数 / 配当 時数		児童生徒		担当者	
1 / 35		高等部 1年訪問Ⅱ課程			
目標：(知及技)知識及び技能 (思判表力)思考力、判断力、表現力等 (学・人)学びに向かう力・人間性等 評価：(知・技)知識・技能 (思・判・表)思考・判断・表現 (主学)主体的に学習に取り組む態度					
年間の生徒が自立を目指し、障害による学習上又は生活上の困難を主体的に改善・克服するために必要な知識、技能、態度及び習慣を養い、もって心身の調和的発達を基盤を培う。					
学期	時数	単元・題材の目標	単元・題材の評価規準	単元・題材名	単元・題材の活動内容
1 学期	12	①生活リズムや生活習慣を身につけることができる。(健(1)) ②病気の状態の理解と生活習慣について理解できる。(健(2)) ③身体各部の状態の理解と養護について理解することができる。(健(3)) ④障害の特性の理解と生活環境の調整を図ることができる。(健(4)) ⑤健康状態の維持・改善について理解することができる。(健(5))	・生活リズムや生活習慣の習得に取り組もうとしている。 ・病気の状態の理解や生活習慣について理解しようとしている。 ・身体各部の状態の理解と養護について理解しようとしている。 ・障害特性の理解と生活環境の調整について理解しようとしている。 ・健康状態の維持・改善について理解しようとしている。 【評価資料】活動の様子と感想発表、振り返りとして評価する。	単元名：健康な体づくり 題材名：基礎体力を身につけよう！ (年間を通しておこなう)	・体温を測る。 ・健康を観察する。 ・手洗いをする。 ・うがいをする。 ・歯磨きをする。 ・体を動かす。 ・水分を補給する。 ・給食を摂る。
		①情緒の安定を図ることができる。(心(1)) ②状況の理解と変化への対応ができる。(心(2)) ③障害による学習上又は生活上の困難を改善・克服する意欲について理解することができる。(心(3))	・情緒の安定を図ろうとしている。 ・状況の理解と変化への対応を図ろうとしている。 ・障害による学習上又は生活上の困難を改善・克服について理解しようとしている。 【評価資料】活動の様子と感想発表、振り返りとして評価する。	単元名：ところを上手にコントロール 題材名：自他の気持ちをについて考えてみよう！ (年間を通しておこなう)	・学級、学年活動を行う。 ・日課を確認する。 ・iPadで学習する。 ・マッチング、パズルの活動。 ・リラクゼーション活動
2 学期	14	①他者とのかかわりの基礎について理解できる。(人(1)) ②他者の意図や感情について理解できる。(人(2)) ③自己の理解と行動の調整について理解できる。(人(3)) ④集団への参加について理解できる。(人(4))	・他者とのかかわりの基礎について理解しようとしている。 ・他者の意図や感情について理解しようとしている。 ・自己の理解と行動の調整について理解しようとしている。 ・集団への参加について理解しようとしている。 【評価資料】活動の様子と感想発表、振り返りとして評価する。	単元名：見えないルール 題材名：ルールについて考えてみよう (年間を通しておこなう)	・学級、学年活動を行う。 ・ソーシャルスキルトレーニングを用いた学習をする。 ・ロールプレイングゲームを行う。
		①保有する感覚の活用について理解できる。(環(1)) ②感覚や認知の特性について理解できる。(環(2)) ③感覚の補助及び代手段の活用について理解できる。(環(3)) ④感覚を総合的に活用した周囲の状況に応じた行動について理解できる。(環(4)) ⑤認知や行動の手掛かりとなる概念の形成について理解できる。(環(5))	・保有する感覚の活用について理解しようとしている。 ・感覚や認知の特性について理解しようとしている。 ・感覚の補助及び代手段の活用について理解しようとしている。 ・感覚を総合的に活用した周囲の状況に応じた行動について理解しようとしている。 ・認知や行動の手掛かりとなる概念の形成について理解しようとしている。 【評価資料】活動の様子と感想発表、振り返りとして評価する。	単元名：感覚あそび 題材名：自分の身体をコントロールしてみよう！ (年間を通しておこなう)	・学級、学年活動を行う。 ・文字の習得をめざしてプリント学習を行う。 ・iPadを使った微細運動やバランスボール等を使った粗大運動に取り組む。
3 学期	9	①姿勢と運動・動作の基本的技能について理解できる。(身(1)) ②姿勢保持と運動・動作の補助的手段の活用について理解できる。(身(2)) ③日常生活に必要な基本動作について理解できる。(身(3)) ④身体の移動能力について理解できる。(身(4)) ⑤作業に必要な動作と円滑な遂行について理解できる。(身(5))	①姿勢と運動・動作の基本的技能について理解しようとしている。 ②姿勢保持と運動・動作の補助的手段の活用について理解しようとしている。 ③日常生活に必要な基本動作について理解しようとしている。 ④身体の移動能力について理解しようとしている。 ⑤作業に必要な動作と円滑な遂行について理解しようとしている。 【評価資料】活動の様子と感想発表、振り返りとして評価する。	単元名：自身のからだについて 題材名：自分の可動域を知ろう (年間を通しておこなう)	・微細、粗大運動など手指訓練を行う。 ・ビジョントレーニングを行う。 ・リラクスタイムを設けて休息を図る。
		①コミュニケーションの基礎的能力について理解できる。(コ(1)) ②言語の受容と表出について理解できる。(コ(2)) ③言語の形成と活用について理解できる。(コ(3)) ④コミュニケーション手段の選択と活用について理解できる。(コ(4)) ⑤状況に応じたコミュニケーションについて理解できる。(コ(5))	・コミュニケーションの基礎的能力について理解しようとしている。 ・言語の受容と表出について理解しようとしている。 ・言語の形成と活用について理解しようとしている。 ・コミュニケーション手段の選択と活用について理解しようとしている。 ・状況に応じたコミュニケーションについて理解しようとしている。 【評価資料】活動の様子と感想発表、振り返りとして評価する。	単元名：伝えかたの工夫 題材名：相手にわかりやすく伝えよう。 (年間を通しておこなう)	・学級、学年活動を行う。 ・声の大きさで声の大きさの調整を図る。 ・トークカードゲームを用いて学習する。 ・ロールプレイングゲームを行う。
総時数	35				

単位数 /配当時 数	児童生徒		担当者		
0.5 /17.5	高等部1年訪問Ⅱ課程				
目標：(知及技)知識及び技能 (思判表力)思考力、判断力、表現力等 (学・人)学びに向かう力・人間性等 評価：(知・技)知識・技能 (思・判・表)思考・判断・表現 (主学)主体的に学習に取り組む態度					
年間目標 (知及技)我が国の国土の様子と国民生活、自然環境の特色、先人の業績や優れた文化遺産、社会参加するためのきまり、公共施設の役割と制度、農業や水産業の現状、産業と経済との関わり、外国の様子について、様々な資料や具体的な活動を通して、社会生活との関連を踏まえて理解するとともに、情報を適切に調べまとめる技能を身に付けるようにする。(高1段階) (思判表力)社会的事象の特色や相互の関連、意味を多角的に考える力、自分の生活と結び付けて考える力、社会への関わり方を選択・判断する力、考えたことや選択・判断したことを表現する力を養う。(高1段階) (学・人)社会に主体的に関わろうとする態度や、よりよい社会を考え学習したことを社会生活に生かそうとする態度を養うとともに、多角的な思考や理解を通して、地域社会に対する誇りと愛情、地域社会の一員としての自覚、我が国の国土に対する愛情、我が国の歴史や伝統を大切に国を愛する心情、我が国の産業の発展を願い我が国の将来を担う国民としての自覚や平和を願う日本人として世界の国々の人々と共に生きることの大切さについての自覚を養う。(高1段階)					
学期	時数	単元・題材の目標	単元・題材の評価規準	単元・題材名	単元・題材の活動内容
1学期	6	(知及技)青年期は自己形成の大切な時期であること、自己実現にはよりよい社会の実現が前提であることを理解できる。(高1段階ア(ア)㉞) (思判表力)自己形成の課題やよりよい社会について考察することができる。(高1段階ア(ア)㉞) (学・人)社会の一員としての自覚をもち、自分の生き方を選択し、社会生活に興味関心をもつことができる。(高1段階ア(ア)㉞)	(知・技)青年期は自己形成の大切な時期であること、自己実現にはよりよい社会の実現が前提であることを理解しようとしている。 (思・判・表)自己形成の課題やよりよい社会について考察しようとしている。 (主学)社会の一員としての自覚をもち、自分の生き方を選択し、社会生活に興味関心をもとうとしている。	社会の中で生きる私たち	・自分と社会とのつながりを考える(家族、学校、地域社会) ・沖縄戦時代の写真を振り返る。
2学期	7	(知及技)経済活動の意義について理解している。(高1段階工(ア)㉞) (思判表力)消費者問題について予防策を考えることができる。(高1段階工(ア)㉞) (学・人)自立した消費者を目指して意識的に学んだ知識や情報を活用することができる。(高1段階ア(イ)㉞)	(知・技)経済活動の意義について理解しようとしている。 (思・判・表)消費者問題について予防策を考えようとしている。 (主学)自立した消費者を目指して意識的に学んだ知識や情報を活用しようとしている。	暮らしを支える経済	・消費生活に基づいて生産から消費への流れ(流通のしくみ)企業の経済的役割と消費者主権について確認する。 ・いろいろな仕事(産業別)を知る。
3学期	4.5	(知及技)世界には様々な価値観を持つ国があることや国際社会での日本の役割が理解できる。(高1段階力(ア)㉞) (思判表力)国際社会の現状と課題について、自分の生活と結び付けて考察することができる。(高1段階力(ア)㉞) (学・人)持続可能な社会を目指して自分や身近な人ができることを知り、主体的に課題解決に取り組むことができる。(高1段階力(ア)㉞)	(知・技)世界には様々な価値観を持つ国があることや国際社会での日本の役割が理解しようとしている。 (思・判・表)国際社会の現状と課題について、自分の生活と結び付けて考察しようとしている。 (主学)持続可能な社会を目指して自分や身近な人ができることを知り、主体的に課題解決に取り組もうとしている。	世界の中の日本	・国際社会と日本の諸課題について確認する。
総時数	17.5				

単位数 /配当時 数	児童生徒		担当者		
0.5 /17.5	高等部1年訪問Ⅱ課程				
目標：(知及技)知識及び技能 (思判表力)思考力、判断力、表現力等 (学・人)学びに向かう力・人間性等 評価：(知・技)知識・技能 (思・判・表)思考・判断・表現 (主学)主体的に学習に取り組む態度					
年間目標 (知及技) 効果的なコミュニケーションの方法や、身近にあるコンピュータやデータの活用について知り、基礎的な技能を身に付けるとともに、情報社会と人の関わりについて知る。(高1段階) (思判表力) 身近な事象を情報とその結び付きとして捉え、問題を知り、問題を解決するために必要な情報と情報技術を活用する力を養う。(高1段階) (学・人) 身近にある情報や情報技術を活用するとともに、情報社会に関わろうとする態度を養う。(高1段階)					
学期	時数	単元・題材の目標	単元・題材の評価規準	単元・題材名	単元・題材の活動内容
1 学期	6	(知及技) 身近にある情報やメディアの基本的な特性について知ることができる。 (高1段階Aア(ア)) (思判表力) 目的や状況に応じて、身近にある情報に関する問題を知り、問題を解決する方法について考えることができる。 (高1段階Aイ(ア)) (学・人) 事象と関係する情報を見つけることができる。(高1段階ウ)	(知・技) 身近にある情報やメディアの基本的な特性について知ろうとしている。 (思・判・表) 目的や状況に応じて、身近にある情報に関する問題を知り、問題を解決する方法について考えようとしている。 (主学) 教師の支援のもと、事象と関係する情報を見つけようとしている。	「自己紹介シートを作ってみよう」 (6月)	・個人情報の扱いについて知る。 ・教材 (Officeアプリケーション)
2 学期	7	(知及技) 情報に関する身近で基本的な、法規や制度について知ることができる。 (高1段階Aア(イ)) (思判表力) 情報に関する身近で基本的な法規や制度について考えることができる。 (高1段階Aイ(イ)) (学・人) 意欲的に、情報や情報技術を適切に使うことができる。(高1段階ウ)	(知・技) 情報に関する身近で基本的な、法規や制度について知ろうとしている。 (思・判・表) 情報に関する身近で基本的な法規や制度について考えようとしている。 (主学) 意欲的に情報や情報技術を適切に使うようとしている。	「情報社会で生きていくためには」 (9・10月)	・モバイル端末の利便性について学ぶ。 ・教材 (PC, iPad)
3 学期	4.5	(知及技) 身近にある情報技術が人や社会に果たす役割と及ぼす影響について知ることができる。(高1段階Aア(ウ)) (思判表力) 身近にある情報や情報技術の活用について考えることができる。(高1段階Aイ(ウ)) (学・人) 目的に応じて情報を活用し、見通しを立てることができる。(高1段階ウ)	(知・技) 身近にある情報技術が人や社会に果たす役割と及ぼす影響について知ろうとしている。 (思・判・表) 身近にある情報や情報技術の活用について考えようとしている。 (主学) 目的に応じて情報を活用し、見通しを立てようとしている。	「施設見学について情報を集めて発表してみよう」 (2・3月)	・目的とする情報を収集し、整理、発表する。 ・教材 (インターネット、プレゼンアプリケーション)
総時数	17.5				

単位数 /配当時 数	児童生徒		担当者		
0.5 /17.5	高等部1年訪問Ⅱ課程				
<p>(知及技)職業に関する事柄について理解するとともに、将来の職業生活に係る技能を身につけるようにする。(高1段階) (思判表力)将来の職業生活を見据え、必要な事柄を見いだして課題を設定し、解決策を考え、実践を評価し、表現する力を養う。(高1段階) (学・人)よりよい将来の職業生活の実現や地域社会への参画に向けて、生活を工夫しようとする実践的な態度を養う。(高1段階)</p>					
<p>年間目標 (知及技)職業に関する事柄について理解するとともに、将来の職業生活に係る技能を身につけるようにする。(高1段階) (思判表力)将来の職業生活を見据え、必要な事柄を見いだして課題を設定し、解決策を考え、実践を評価し、表現する力を養う。(高1段階) (学・人)よりよい将来の職業生活の実現や地域社会への参画に向けて、生活を工夫しようとする実践的な態度を養う。(高1段階)</p>					
学期	時数	単元・題材の目標	単元・題材の評価規準	単元・題材名	単元・題材の活動内容
1 学期	6	<p>(知及技)職業生活に必要なとされる実践的な知識及び技能を身につけることができる。(高1段階Aイ(ア)㉔) (思判表力)作業や実習における役割を踏まえて、自分の成長や課題について考え、表現することができる。(高1段階Aイ(イ)㉕) (学・人)作業や実習等に達成感を得て、計画性をもって主体的に取り組むことができる。(高1段階Aア(ウ))</p>	<p>(知・技)職業生活に必要なとされる実践的な知識及び技能を身に付けようとしている。 (思・判・表)作業や実習における役割を踏まえて、自分の成長や課題について考え、表現しようとしている。 (主学)作業や実習等に達成感を得て、計画性をもって主体的に取り組もうとしている。</p>	<p>労働者としての基礎的な態度やマナー(4月～5月) ・職業の心得 ・挨拶 ・言葉遣い ・身だしなみ ・「報告・連絡・相談」</p>	<p>・職業の心得について学び、知る。 ・挨拶、言葉遣い、身だしなみ、連絡、報告等労働者としての基礎的な態度やマナーについて知る。</p>
2 学期	7	<p>(知及技)情報セキュリティ及び情報モラルについて知るとともに、表現、記録、計算、通信に係るコンピュータ等の情報機器について、その特性や機能を知り、操作の仕方が分かり、扱うことができる。(高1段階Bア) (思判表力)情報セキュリティ及び情報モラルを踏まえ、コンピュータ等の情報機器を扱い、収集した情報をまとめ、考えたことを発表することができる。(高1段階Bイ) (学・人)作業や実習等に達成感を得て、計画性をもって主体的に取り組むことができる。(高1段階Aア(ウ))</p>	<p>(知・技)情報セキュリティ及び情報モラルについて知るとともに、表現、記録、計算、通信に係るコンピュータ等の情報機器について、その特性や機能を知り、操作の仕方が分かり、扱おうとしている。 (思・判・表)情報セキュリティ及び情報モラルを踏まえ、コンピュータ等の情報機器を扱い、収集した情報をまとめ、考えたことを発表しようとしている。 (主学)作業や実習等に達成感を得て、計画性をもって主体的に取り組もうとしている。</p>	<p>「職業体験」 (9月～10月)</p>	<p>・アイロンビーズ作り ・ICT機器の活用 ・醤油キャップ閉め ・紙ちぎり ・紙やすりで磨き体験 ・お茶作り</p>
		<p>(知及技)使用する道具や機械等の特性や扱い方を理解し、作業課題に応じて正しく扱おうことができる。(高1段階Aイ(ア)㉔) (思判表力)作業上の安全や衛生及び作業の効率について考え、改善を図ることができる。(高1段階Aイ(イ)㉕) (学・人)作業や実習等に達成感を得て、計画性を持って主体的に取り組むことができる。(高1段階Aア(ウ))</p>	<p>(知・技)使用する道具や機械等の特性や扱い方を理解し、作業課題に応じて正しく扱おうとしている。 (思・判・表)作業上の安全や衛生及び作業の効率について考え、改善を図ろうとしている。 (主学)作業や実習等に達成感を得て、計画性をもって主体的に取り組もうとしている。</p>	<p>「清掃」 (11月～12月)</p>	<p>・掃除用具の使い方 ・身の回りの整理整頓 ・机ふき ・ゴミの分別</p>
3 学期	4.5	<p>(知及技)職業生活に必要なとされる実践的な知識及び技能を身につけることができる。(高1段階Aイ(ア)㉔) (思判表力)作業や実習における役割を踏まえて、自分の成長や課題について考え、表現することができる。(高1段階Aイ(イ)㉕) (学・人)作業や実習等に達成感を得て、計画性をもって主体的に取り組むことができる。(高1段階Aア(ウ))</p>	<p>(知・技)職業生活に必要なとされる実践的な知識及び技能を身に付けようとしている。 (思・判・表)作業や実習における役割を踏まえて、自分の成長や課題について考え、表現しようとしている。 (主学)作業や実習等に達成感を得て、計画性をもって主体的に取り組もうとしている。</p>	<p>「1年間のまとめ」 (1月～3月)</p>	<p>・1年間の授業を振り返る。</p>
総時 数	17.5				

単位数 /配当 時数	児童生徒		担当者		
1 /35	高等部1年訪問Ⅱ課程				
目標：(知及技)知識及び技能 (思判表力)思考力、判断力、表現力等 (学・人)学びに向かう力・人間性等 評価：(知・技)知識・技能 (思・判・表)思考・判断・表現 (主学)主体的に学習に取り組む態度					
年間目標 (知及技)整数、小数、分数及び概数の意味と表し方や四則の関係また図形の形や大きさが決まる要素や立体を構成する要素の位置関係、図形の合同や多角形の性質、比例関係や異種の二つの量の割合の比べ方、百分率、データをグラフで表す表し方や読み取り方、測定した結果を平均する方法について理解するとともに、それらの問題解決における用い方についての技能を身に付けるようにする。(高1段階) (思判表力)数の表し方の仕組みや数を構成する単位、図形を構成する要素や図形間の関係、伴って変わる二つの数量の関係、目的に応じて収集したデータの特徴や傾向に着目して、目的に合った表現方法を用いて問題解決したり、解決の過程や結果を多面的に捉え考察したりする力を養う。(高1段階) (学・人)数量や図形、データの活用について数学的に表現・処理したことを振り返り、多面的に捉え検討してよりよいものを求めて粘り強く考える態度、数学のよさに気付き学習したことを生活や学習に活用しようとする態度を養う。(高1段階)					
学期	時数	単元・題材の目標	単元・題材の評価規準	単元・題材名	単元・題材の活動内容
1 学期	12	(知及技)整数、小数、分数及び概数の意味と表し方や四則の関係について理解するとともに、整数、小数及び分数の計算についての意味や性質について理解し、それらを計算する技能を身に付けることができる。(高1段階Aア) (思判表力)数の表し方の仕組みや数を構成する単位に着目し、数の比べ方や表し方を統合的に捉えて考察したり、数とその表現や数量の関係に着目し、目的に合った表現方法を用いて計算の仕方を考察したりするとともに、数量の関係を簡潔に、また一般的に表現する力を養うことができる。(高1段階Aイ) (学・人)数量について数学的に表現・処理したことを振り返り、多面的に捉え検討してよりよいものを求めて粘り強く考える態度、数学のよさに気付き学習したことを生活や学習に活用しようとする態度を養う。	(知・技)整数、小数、分数及び概数の意味と表し方や四則の関係について理解するとともに、整数、小数及び分数の計算についての意味や性質について理解し、それらを計算する技能を身に付けようとしている。 (思・判・表)数の表し方の仕組みや数を構成する単位に着目し、数の比べ方や表し方を統合的に捉えて考察したり、数とその表現や数量の関係に着目し、目的に合った表現方法を用いて計算の仕方を考察したりするとともに、数量の関係を簡潔に、また一般的に表現する力を養おうとする。 (主学)数量について数学的に表現・処理したことを振り返り、検討してよりよいものを求めて粘り強く考えたり、数学のよさに気付き学習したことを生活や学習に活用しようとする態度を養う。	数と計算「もの数を数えてみよう」	・イラストや文房具で物の数を数える。 ・積み木の組み立て
2 学期	14	(知及技)図形の形や大きさが決まる要素や立体を構成する要素の位置関係、図形の合同や多角形の性質について理解し、図形を作図したり、三角形、平行四辺形、ひし形、台形の面積を求めたりする技能を身に付けることができる。(高1段階Bア) (思判表力)図形を構成する要素や図形間の関係に着目し、構成の仕方を考察したり、図形の性質を見いだしたりするとともに、三角形、平行四辺形、ひし形の面積の求め方を考え、その表現を振り返り、簡潔かつ確かな表現に高め、公式として導く力を養うことができる。(高2段階Bイ) (学・人)図形や数量について数学的に表現・処理したことを振り返り、多面的に捉え検討してよりよいものを求めて粘り強く考える態度、数学のよさに気付き学習したことを生活や学習に活用しようとする態度を養う。	(知・技)図形の形や大きさが決まる要素や立体を構成する要素の位置関係、図形の合同や多角形の性質について理解し、図形を作図したり、三角形、平行四辺形、ひし形、台形の面積を求めたりする技能を身に付けようとしている。 (思・判・表)図形を構成する要素や図形間の関係に着目し、構成の仕方を考察したり、図形の性質を見いだしたりするとともに、三角形、平行四辺形、ひし形の面積の求め方を考え、その表現を振り返り、簡潔かつ確かな表現に高め、公式として導く力を養おうとしている。 (主学)図形や数量について数学的に表現・処理したことを振り返り、多面的に捉え検討してよりよいものを求めて粘り強く考える態度、数学のよさに気付き学習したことを生活や学習に活用しようとする態度を養う。	「図形」 ・図形の認識 ・型はめ ・パズル	・パズルや形はめを活用して、図形について知る。
3 学期	9	(知及技)比例の関係や異種の二つの量の割合として捉えられる数量の比べ方、百分率について理解するとともに、目的に応じてある二つの数量の関係と別の二つの数量とを比べたり、表現したりする方法についての技能を身に付けることができる。(高1段階Cア) (思判表力)伴って変わる二つの数量の関係に着目し、その変化や対応の特徴を表や式を用いて考察したり、異種の二つの量の割合を用いた数量の比べ方を考察したりする力を養うことができる。(高1段階Cイ) (学・人)数量について数学的に表現・処理したことを振り返り、多面的に捉え検討してよりよいものを求めて粘り強く考える態度、数学のよさに気付き学習したことを生活や学習に活用しようとする態度を養うことができる。(高1段階Cウ)	(知・技)比例の関係や異種の二つの量の割合として捉えられる数量の比べ方、百分率について理解するとともに、目的に応じてある二つの数量の関係と別の二つの数量とを比べたり、表現したりする方法についての技能を身に付けようとしている。 (思・判・表)伴って変わる二つの数量の関係に着目し、その変化や対応の特徴を表や式を用いて考察したり、異種の二つの量の割合を用いた数量の比べ方を考察したりする力を養おうとする。 (主学)数量について数学的に表現・処理したことを振り返り、多面的に捉え検討してよりよいものを求めて粘り強く考える態度、数学のよさを実感し、学習したことを生活や学習に活用しようとする態度を養おうとしている。	「測定、変化と関係」 ・長さを比べよう ・同じものの違いを知る	・リボンや鉛筆などの長いものの長さを比べる ・同じ果物同士で大きさを比べる
総時数	35				

令和7年度 高等部 1年訪問Ⅱ課程 総合的な探究の時間年間指導計画

単位数 /配当時 数		児童生徒		担当者	
		高等部1年訪問Ⅱ課程			
目標：(知及技)知識及び技能 (思判表力)思考力、判断力、表現力等 (学・人)学びに向かう力・人間性等 評価：(知・技)知識・技能 (思・判・表)思考・判断・表現 (主学)主体的に学習に取り組む態度					
年間目標 (知及技)探究の過程において、課題の発見と解決に必要な知識及び技能を身に付け、課題に関わる概念を形成し、探究の意義や価値を理解できるようにする。 (思判表力)実社会や実生活と自己との関わりから問いを見出し、自分で課題を立て、情報を集め、整理・分析して、まとめ・表現することができるようにする。 (学・人)探究に主体的・協働的に取り組むとともに、互いのよさを生かしながら、新たな価値を創造し、よりよい社会を実現しようとする態度を養う。					
学期	時数	単元・題材の目標	単元・題材の評価規準	単元・題材名	単元・題材の活動内容
1 学期		(知及技) 交通ルールについて理解を深め、事故等の非常時から身を守ることを意義を理解し、必要な行動の仕方などを身に付けることができる。 (思判表力) 自己の生活を振り返り、交通安全に関する課題と解決策について考え、他者と協力して、適切に判断し行動することができる。 (学・人) 生涯にわたって、心身ともに健康で安全な生活を実践したりしようとする態度を養うことができる。	(知・技) 交通ルールについて理解を深め、事故等の非常時から身を守ることを意義を理解し、必要な行動の仕方などを身に付けようとしている。 (思・判・表) 自己の生活を振り返り、交通安全に関する課題と解決策について考え、他者と協力して、適切に判断し行動しようとしている。 (主学) 生涯にわたって、心身ともに健康で安全な生活を実践したりしようとする態度を身に付けようとしている。 【評価資料】 学習や活動の状況などの観察による評価	「交通ルール」 (4月～7月)	<ul style="list-style-type: none"> 交通安全に関するビデオ視聴をする。 仮設信号機での交通ルール確認をする。 ワークシート学習をする。
2 学期		(知及技) 校外における集団生活の在り方や社会生活上のルール、公衆道徳などについて理解し、必要な行動の仕方を身に付けることができる。 (思判表力) 日常とは異なる生活環境の中での集団生活の在り方や公衆道徳について考え、学校生活や学習活動の成果を活用しよう考えることができる。 (学・人) 日常とは異なる環境や集団生活において、自然や文化・社会に親しみ、新たな視点から学校生活や学習活動の意義を考えようすることができる。	(知・技) 校外における集団生活の在り方や社会生活上のルール、公衆道徳などについて理解し、必要な行動の仕方を身に付けようとしている。 (思・判・表) 日常とは異なる生活環境の中での集団生活の在り方や公衆道徳について考え、学校生活や学習活動の成果を活用しようとしている。 (主学) 日常とは異なる環境や集団生活において、自然や文化・社会に親しみ、新たな視点から学校生活や学習活動の意義を考えようとする態度を身に付けようとしている。 【評価資料】 学習や活動の状況などの観察による評価しおり等の記述内容に基づいて評価	「生活探究の時間」 (11月) ・1日総合	<ul style="list-style-type: none"> iPadなどのICT機器を使用して公共施設利用の疑似体験を行う。 学年レクリエーションを行う。 しおりに学習した内容を記入する。
	3 学期	(知及技) 校外における集団生活の在り方や社会生活上のルール、公衆道徳などについて理解し、必要な行動の仕方を身に付けることができる。 (思判表力) 日常とは異なる生活環境の中での集団生活の在り方や公衆道徳について考え、学校生活や学習活動の成果を活用しよう考えることができる。 (学・人) 日常とは異なる環境や集団生活において、自然や文化・社会に親しみ、新たな視点から学校生活や学習活動の意義を考えようすることができる。	(知・技) 校外における集団生活の在り方や社会生活上のルール、公衆道徳などについて理解し、必要な行動の仕方を身に付けようとしている。 (思・判・表) 日常とは異なる生活環境の中での集団生活の在り方や公衆道徳について考え、学校生活や学習活動の成果を活用しようとしている。 (主学) 日常とは異なる環境や集団生活において、自然や文化・社会に親しみ、新たな視点から学校生活や学習活動の意義を考えようとする態度を身に付けようとしている。 【評価資料】 学習や活動の状況などの観察による評価しおり等の記述内容に基づいて評価	「生活探究の時間」 (2月)	<ul style="list-style-type: none"> 公共施設を利用する。 学年レクリエーションを行う。 しおりに学習した内容を記入する。
総時数					

単位数 / 配当 時数		児童生徒		担当者	
0.5 / 17.5		高等部1年訪問Ⅱ課程			
目標：(知及技)知識及び技能 (思判表力)思考力、判断力、表現力等 (学・人)学びに向かう力・人間性等 評価：(知・技)知識・技能 (思・判・表)思考・判断・表現 (主学)主体的に学習に取り組む態度					
年間目標 (知及技) 各種の運動の楽しさや喜びを味わい、その特性に応じた技能等や心身の発育・発達、個人生活に必要な健康・安全に関する事柄などを理解するとともに、技能を身に付けるようにする。(高1段階) (思判表力) 各種の運動や健康・安全な生活を営むための自他の課題を発見し、その解決のための方策を工夫したり、仲間と考えたりしたことを、他者に伝える力を養う。(高1段階) (学・人) 各種の運動における多様な経験を通して、きまりやルール、マナーなどを守り、仲間と協力したり、場や用具の安全を確保したりし、自己の最善を尽くして自主的に運動をする態度を養う。また、健康・安全に留意し、健康の保持増進と回復に積極的に取り組む態度を養う。(高1段階)					
学期	時数	単元・題材の目標	単元・題材の評価規準	単元・題材名	単元・題材の活動内容
1 学期	6	(知及技) 体ほぐしの運動や体の動きを高める運動を通して、体を動かす楽しさや心地よさを味わい、その行い方や方法を理解するとともに、仲間と積極的に関わったり、動きを持続する能力などを高める運動をしたりすることができる。(高1段階Aア) (思判表力) 体ほぐしの運動や体の動きを高める運動についての自他の課題を発見し、その解決のための方策を工夫したり、仲間と考えたりしたことを他者に伝えることができる。(高1段階Aイ) (学・人) 体ほぐしの運動や体の動きを高める運動の多様な経験を通して、きまりを守り、仲間と協力したり、場や用具の安全を確保したりし、自主的に運動をすることができる。(高1段階Aウ)	(知・技) 体ほぐしの運動や体の動きを高める運動を通して、体を動かす楽しさや心地よさを味わい、その行い方や方法を理解するとともに、仲間と積極的に関わったり、動きを持続する能力などを高める運動をしようとしている。 (思・判・表) 体ほぐしの運動や体の動きを高める運動についての自他の課題を発見し、その解決のための方策を工夫したり、仲間と考えたりしたことを他者に伝えようとしている。 (主学) 体ほぐしの運動や体の動きを高める運動の多様な経験を通して、きまりを守り、仲間と協力したり、場や用具の安全を確保したりし、自主的に運動をしようとしている。	「体づくり運動」 (4月～3月) ・集団行動 ・特体連ダンス ・ラジオ体操 ・新体力テスト	・いろいろな手軽な運動やリズムカルな運動を行う。 ・特体連ダンスやラジオ体操や地域で親しまれている曲に合わせてダンスを行う。 ・体の柔らかさや巧みな動き、力強い動き、動きを持続する能力を高めることをねらいとして行われる運動を行う。
		(知及技) 水泳の楽しさや喜びを味わい、その特性に応じた技能を理解するとともに泳法を身に付けることができる。(高1段階Dア) (思判表力) 水泳についての自他の課題を発見し、その解決のための方策を工夫したり、仲間と考えたりしたことを他者に伝えることができる。(高1段階Dイ) (学・人) 水泳の多様な経験を通して、きまりやルール、マナーなどを守り、仲間と協力したり、場や用具の安全を確保したりし、自主的に運動をすることができる。(高1段階Dウ)	(知・技) 水泳の楽しさや喜びを味わい、その特性に応じた技能を理解するとともに泳法を身に付けようとしている。 (思・判・表) 水泳についての自他の課題を発見し、その解決のための方策を工夫したり、仲間と考えたりしたことを他者に伝えようとしている。 (主学) 水泳の多様な経験を通して、きまりやルール、マナーなどを守り、仲間と協力したり、場や用具の安全を確保したりし、自主的に運動をしようとしている。	「水泳」 (6～7月) ・クロール ・平泳ぎ ・スタート&ターン	・クロール、平泳ぎでは手や足の動きと呼吸のタイミングを合わせられるようゆっくりとした動きで行う。 ・生徒の体力や技能に応じてスタート、ターンの練習を行う。
2 学期	7	(知及技) 器械運動の楽しさや喜びを味わい、その特性に応じた技能を理解するとともに技を身に付けることができる。(高1段階Bア) (思判表力) 器械運動についての自他の課題を発見し、その解決のための方策を工夫したり、仲間と考えたりしたことを他者に伝えることができる。(高1段階Bイ) (学・人) 器械運動の多様な経験を通して、きまりやルール、マナーなどを守り、仲間と協力したり、場や器械・器具の安全を確保したりし、自主的に運動をすることができる。(高1段階Bウ)	(知・技) 器械運動の楽しさや喜びを味わい、その特性に応じた技能を理解するとともに技を身に付けようとしている。 (思・判・表) 器械運動についての自他の課題を発見し、その解決のための方策を工夫したり、仲間と考えたりしたことを他者に伝えようとしている。 (主学) 器械運動の多様な経験を通して、きまりやルール、マナーなどを守り、仲間と協力したり、場や器械・器具の安全を確保したりし、自主的に運動をしようとしている。	「器械運動」 (9月) ・マット運動 ・跳び箱運動 ・トランポリン	・一連の動きを滑らかに、バランスよく姿勢を保ちながら行い、基本的な技を身に付ける。
		(知及技) 武道の楽しさや喜びを味わい、その特性に応じた技能を理解するとともに、基本動作や基本となる技を用いて、簡易な攻防を展開することができる。(高1段階Fア) (思判表力) 武道についての自他の課題を発見し、その解決のための方策を工夫したり、仲間と考えたりしたことを他者に伝えることができる。(高1段階Fイ) (学・人) 武道の多様な経験を通して、きまりや伝統的な行動の仕方を守り、仲間と協力したり、場や用具の安全を確保したりし、自主的に運動をすることができる。(高1段階Fウ)	(知・技) 武道の楽しさや喜びを味わい、その特性に応じた技能を理解するとともに、基本動作や基本となる技を用いて、簡易な攻防を展開しようとしている。 (思・判・表) 武道についての自他の課題を発見し、その解決のための方策を工夫したり、仲間と考えたりしたことを他者に伝えようとしている。 (主学) 武道の多様な経験を通して、きまりや伝統的な行動の仕方を守り、仲間と協力したり、場や用具の安全を確保したりし、自主的に運動をしようとしている。	「武道」 (10月) ・空手	・基本動作を中心に取り組み、普及型Ⅰ、Ⅱに挑戦する。
3 学期	4.5	(知及技) ダンスの楽しさや喜びを味わい、その行い方を理解するとともに、技能を身に付け、表現や踊りを通じた交流をすることができる。(高1段階Gア) (思判表力) ダンスについての自他の課題を発見し、その解決のための方策を工夫したり、仲間と考えたりしたことを他者に伝えることができる。(高1段階Gイ) (学・人) ダンスの多様な経験を通して、仲間の表現を認め助け合ったり、場や用具の安全を確保したりし、自主的に運動をすることができる。(高1段階Gウ)	(知・技) ダンスの楽しさや喜びを味わい、その行い方を理解するとともに、技能を身に付け、表現や踊りを通じた交流をしようとしている。 (思・判・表) ダンスについての自他の課題を発見し、その解決のための方策を工夫したり、仲間と考えたりしたことを他者に伝えようとしている。 (主学) ダンスの多様な経験を通して、仲間の表現を認め助け合ったり、場や用具の安全を確保したりし、自主的に運動をしようとしている。	「ダンス」 (1月) ・創作ダンス	・現代的なリズムのダンス(リズムに乗って全身で自由に弾んで踊ること。) ・簡単なリズムの取り方や動きで、音楽のリズムに同調したり、体幹部を中心としたシングルに弾む動きをしたりして自由に踊ること。 ・リズムの取り方や動きの連続のさせ方を組み合わせて、動きに変化を付けて踊ること
総時数	17.5				

令和7年度 高等部 1年訪問Ⅱ課程 特別な教科道徳 年間指導計画

単位数 / 配当時 数	児童生徒		担当者		
0.25 / 8.75	高等部1年訪問Ⅱ課程				
目標：(知及技)知識及び技能 (思判表力)思考力、判断力、表現力等 (学・人)学びに向かう力・人間性等 評価：(知・技)知識・技能 (思・判・表)思考・判断・表現 (主学)主体的に学習に取り組む態度					
年間目標 よりよく生きるための基盤となる道徳性を養うため、道徳的諸価値についての理解をもとに、自己を見つめ、物事を広い視野から多面的、多角的に考え、人間として生き方についての考えを深める学習を通して、道徳的な判断力、心情、実践意欲と態度を育てる。					
学期	時数	単元・題材の目標	単元・題材の評価規準	単元・題材名	単元・題材の活動内容
1 学期	3	自己を見つめ、自己の向上を図るとともに、個性を伸ばして充実した生き方を追求することができる。(A 主として自分自身に関する事)	・自分の夢や目標について考え、自己向上のための目標を教師と一緒に設定しようとしている。 ・苦手なことに対する向き合い方について考え、改善に向けて教師の支援を受けながら取り組もうとしている。 【評価資料】授業での表現や授業後の態度で評価する。	「向上心、個性の伸長」 (4月～5月)	・1学期の個人目標を立てる。
		生命の尊さについて、その連続性や有限性なども含めて理解し、かけがえのない生命を尊重することができる。(D 主として生命や自然、崇高なものとの関わりに関する事)	・沖縄戦や郷土の歴史を学習し、命の尊さ、郷土の文化について教師と一緒に考えようとしている。 ・優しく、温かい心で身近な植物に接し自然を大切にすることを意識しようとしている。 【評価資料】授業での表現や授業後の態度で評価する。	「生命の尊さ」 「よりよく生きる喜び」 (6月～7月)	・平和学習をする。 ・慰霊の日に向けて、沖縄戦の学習をし、郷土の歴史や命の大切さについて再確認する。 ・命について考える。
2 学期	3.5	友情の尊さを理解して心から信頼できる友達をもち、互いに励ましあい、高めあうとともに、異性についての理解を深め、悩みや葛藤も経験しながら人間関係を深めることができる。(B 主として人との関わりに関する事)	・友達と仲良くし、信頼、助け合おうとしている。 ・相手の気持ちを大切に言葉や態度を意識しようとしている。 ・相手に合わせた距離感を知り、教師の支援を受けながら生活の中で意識した行動をしようとしている。 【評価資料】授業での表現や授業後の態度で評価する。	「友情と信頼」 (9月～10月)	・心と体の学習をする。 ・人との距離感について知る。 ・いじめについて考える。 ・「あったかことば」と「ちくちくことば」を知る。
		自分の考えや意見を相手に伝えるとともに、それぞれの個性や立場を尊重し、いろいろなものの見方や考え方があることを理解し、寛容の心をもって謙虚に他に学び、自らを高めることができる。(B 主として人との関わりに関する事)	・約束やきまりを守り、みんなが使うものやみんなのものを教師の支援を受けながら大切に取扱いようとしている。 ・身の回りの公共物や公共の場所は、どのように使ったり、過ごしたりすればよいのかを知り、教師の支援を受けながら行動しようとしている。 ・情報モラルについて学び、教師の支援を受けながら自身の生活の中で意識しようとしている。 【評価資料】授業での表現や授業後の態度で評価する。	「相互理解、寛容について学ぼう」 (11月～12月)	・世界エイズデーについて知る。 ・LGBTについて学ぶ。 ・障害者差別解消法を学ぶ。
3 学期	2.25	より高い目標を設定し、その達成を目指し、希望と勇気もち、困難や失敗を乗り越えて、着実にやり遂げることができる。(A 主として自分自身に関する事)	・1年間を振り返り、がんばったこと、苦手だけだと前向きに取り組めたことを教師と一緒に確認し理解しようとしている。 ・卒業後の目標を設定し、教師と一緒に意識した取り組みをしようとしている。 【評価資料】授業での表現や授業後の態度で評価する。	「勇気と希望、克己と強い意志」 (1月～3月)	・自己の1年間を振り返り、卒業後に向けた目標を設定し、意識した生活が行えるようにする。
総時数	8.75				

単位数 /配当 時数		児童生徒		担当者	
0.25 /8.75		高等部1年訪問Ⅱ課程			
目標：(知及技)知識及び技能 (思判表力)思考力、判断力、表現力等 (学・人)学びに向かう力・人間性等 評価：(知・技)知識・技能 (思・判・表)思考・判断・表現 (学)主体的に学習に取り組む態度					
(知及技)多様な他者と協働する様々な集団活動の意義や活動を行う上で必要となることについて理解し、行動の仕方を身に付けるようにする。 (思判表力)集団で自己の生活、人間関係の課題を見いだし、解決するために話し合い、合意形成を図ったり、意思決定したりすることができるようにする。 (学・人)自主的、実践的な集団活動を通して身に付けたことを生かして、主体的に集団や社会に参画し、生活及び人間関係をよりよく形成するとともに、人間としての在り方生き方についての自覚を深め、事故時苦言を図ろうとする態度を養う。					
学期	時数	単元・題材の目標	単元・題材の評価規準	単元・題材名	単元・題材の活動内容
1 学期	3	(知及技)儀式的行事の意義や、場面にふさわしい参加の仕方について理解し、厳粛な場における儀礼やマナー等の規律や気品ある行動の仕方などを身に付けることができる。 (思判表力)学校生活の節目の場において将来を見通したり、これまでの生活を振り返ったりしながら、新たな生活への自覚を高め、気品ある行動をとることができる。 (学・人)厳粛で清らかな気分を味わい、行事を節目としてこれまでの生活を振り返り、新たな生活への希望や意欲につなげようとする態度を養うことができる。	(知・技)儀式的行事にふさわしい参加の仕方、厳粛な場における儀礼やマナー等の規律や気品ある行動の仕方などを知り、身に付けようとしている。 (思・判・表)学校生活の節目の場において将来を見通したり、これまでの生活を振り返ったりしながら、新たな生活への自覚を高め、気品ある行動をとろうとしている。 (学)厳粛で清らかな気分を味わい、行事を節目としてこれまでの生活を振り返り、新たな生活への希望や意欲につなげようとしている。 【評価の観点】○身なり○聞く態度 ○発表する態度○学習に取り組む意欲	【学校行事】 儀式的行事 ○1学期始業式(4月) ○就任式(4月) ○1学期終業式(7月)	○儀式的行事にふさわしい服装・身なりの実践 ○儀式的行事に応じた儀礼やマナー等の規律や気品ある行動の仕方などの実践 ○入学の喜びの共有と祝福 ○1学期の振り返り ○1学期の頑張りを互いに認め合い、喜び合う ○2学期へ向けた決意表明
		(知及技)異年齢により構成される民主的かつ自治的組織における活動の意義について理解するとともに、その活動のために必要なことを理解し行動の仕方を身に付けることができる。 (思判表力)学校全体の生活をよりよくするための課題を見いだし、その解決のために話し合い、合意形成や意思決定すること、よりよい人間関係を形成することができる。 (学・人)自治的な集団における活動の中で身に付けたことを生かして、多様な他者と協働し、学校や社会におけるよりよい生活づくりに参画しようとする態度を養うことができる。	(知・技)異年齢により構成される民主的かつ自治的組織における活動のために必要なことを理解し、行動の仕方を身に付けようとしている。 (思・判・表)学校全体の生活をよりよくするために話し合い、合意形成や意思決定すること、よりよい人間関係を形成しようとしている。 (学)自治的な集団における活動の中で身に付けたことを生かして、多様な他者と協働し、学校や社会におけるよりよい生活づくりに参画しようとしている。 【評価の観点】○身なり○聞く態度 ○発表する態度○学習に取り組む意欲と態度	【生徒会活動】 ○新入生歓迎会(4月) ○生徒総会(6月)	○新入生の自己紹介 ○生徒会役員の紹介 ○生徒会活動の紹介
2 学期	3.5	(知及技)儀式的行事の意義や、場面にふさわしい参加の仕方について理解し、厳粛な場における儀礼やマナー等の規律や気品ある行動の仕方などを身に付けることができる。 (思判表力)学校生活の節目の場において将来を見通したり、これまでの生活を振り返ったりしながら、新たな生活への自覚を高め、気品ある行動をとることができる。 (学・人)厳粛で清らかな気分を味わい、行事を節目としてこれまでの生活を振り返り、新たな生活への希望や意欲につなげようとする態度を養うことができる。	(知・技)儀式的行事にふさわしい参加の仕方、厳粛な場における儀礼やマナー等の規律や気品ある行動の仕方などを知り、身に付けようとしている。 (思・判・表)学校生活の節目の場において将来を見通したり、これまでの生活を振り返ったりしながら、新たな生活への自覚を高め、気品ある行動をとろうとしている。 (学)厳粛で清らかな気分を味わい、行事を節目としてこれまでの生活を振り返り、新たな生活への希望や意欲につなげようとしている。 【評価の観点】○身なり○聞く態度 ○発表する態度○学習に取り組む意欲	【学校行事】 儀式的行事 ○2学期始業式(9月) ○2学期終業式(12月)	○儀式的行事にふさわしい服装・身なりの実践 ○儀式的行事に応じた儀礼やマナー等の規律や気品ある行動の仕方などの実践。 ○2学期へ向けた決意表明 ○2学期の振り返り ○2学期の頑張りを互いに認め合い、喜び合う。 ○3学期へ向けた決意表明
		(知及技)事件や事故、災害等の非常時から身を守ることを意義を理解し、必要な行動の仕方などを身に付けることができる。 (思判表力)自己の生活を振り返り、健康、安全、防災、運動や体力の向上に関する課題と解決策について考え、他者と協力して、適切に判断し行動することができる。 (学・人)生涯にわたって、心身ともに健康で安全な生活を実践したりしようとする態度を養うことができる。	(知・技)事件や事故、災害等の非常時から身を守ることを意義を理解し、必要な行動の仕方などを身に付ける。また、規律ある集団行動の仕方などを身に付けようとしている。 (思・判・表)自己の生活を振り返り、安全、防災、の向上に関する課題と解決策について考え、他者と協力して、適切に判断し行動しようとしている。 (学)生涯にわたって、安全な生活を実践したりしようとする態度を身につけようとしている。 【評価資料】活動の様子と感想発表、振り返りシートで評価する。	【学校行事】(9月・11月) 健康安全・体育的行事 ・不審者避難訓練 「不審者とは」 「不審者から身を守るには」 ・地震・津波避難訓練 「防災とは」 「自然災害時の危険と安全確保」 ・火災避難訓練 「防災とは」 「火災時の危険と安全確保」	・過去の不審者侵入対策訓練の様子をもとにした学習用動画を視聴する。 ・「いかのおすし」に関する動画を視聴する。 ・振り返りのワークシートを記入する。 ・地震津波時の身の安全確保について学ぶ。 ・防災バッグ携行の実践と携行品の確認をする。 ・避難経路の確認をする。 ・「おはしもち」の確認をする。
3 学期	2.25	(知及技)儀式的行事の意義や、場面にふさわしい参加の仕方について理解し、厳粛な場における儀礼やマナー等の規律や気品ある行動の仕方などを身に付けることができる。 (思判表力)学校生活の節目の場において将来を見通したり、これまでの生活を振り返ったりしながら、新たな生活への自覚を高め、気品ある行動をとることができる。 (学・人)厳粛で清らかな気分を味わい、行事を節目としてこれまでの生活を振り返り、新たな生活への希望や意欲につなげようとする態度を養うことができる。	(知・技)儀式的行事にふさわしい参加の仕方、厳粛な場における儀礼やマナー等の規律や気品ある行動の仕方などを知り、身に付けようとしている。 (思・判・表)学校生活の節目の場において将来を見通したり、これまでの生活を振り返ったりしながら、新たな生活への自覚を高め、気品ある行動をとろうとしている。 (学)厳粛で清らかな気分を味わい、行事を節目としてこれまでの生活を振り返り、新たな生活への希望や意欲につなげようとしている。 【評価の観点】○身なり○聞く態度 ○発表する態度○学習に取り組む意欲	【学校行事】 儀式的行事 ○3学期始業式(1月) ○高等部卒業式(3月)	○儀式的行事にふさわしい服装・身なりの実践 ○儀式的行事に応じた儀礼やマナー等の規律や気品ある行動の仕方などの実践。 ○卒業生の門出を祝う ○3学期へ向けた決意表明 ○3学期の振り返り ○3学期の頑張りを互いに認め合い、喜び合う。 ○来年度へ向けた決意表明
		(知及技)異年齢により構成される民主的かつ自治的組織における活動の意義について理解するとともに、その活動のために必要なことを理解し行動の仕方を身に付けることができる。 (思判表力)学校全体の生活をよりよくするための課題を見いだし、その解決のために話し合い、合意形成や意思決定すること、よりよい人間関係を形成することができる。 (学・人)自治的な集団における活動の中で身に付けたことを生かして、多様な他者と協働し、学校や社会におけるよりよい生活づくりに参画しようとする態度を養うことができる。	(知・技)異年齢により構成される民主的かつ自治的組織における活動の意義について理解するとともに、その活動のために必要なことを理解し行動の仕方を身に付けようとしている。 (思・判・表)学校全体の生活をよりよくするために話し合い、合意形成や意思決定すること、よりよい人間関係を形成しようとしている。 (学)自治的な集団における活動の中で身に付けたことを生かして、多様な他者と協働し、学校や社会におけるよりよい生活づくりに参画しようとしている。 【評価の観点】○身なり○聞く態度 ○発表する態度○学習に取り組む意欲と態度	【生徒会活動】 ○3年生を送る会(2月)	○思い出の動画視聴 ○在校生からのプレゼントの受け取り ○在校生から卒業生へのメッセージ
総時数	8.75				

単位数 /配当時 数	児童生徒		担当者		
0.5 /17.5	高等部1年訪問Ⅱ課程				
目標：(知及技)知識及び技能 (思判表力)思考力、判断力、表現力等 (学・人)学びに向かう力・人間性等 評価：(知・技)知識・技能 (思・判・表)思考・判断・表現 (主学)主体的に学習に取り組む態度					
年間目標	(知及技)造形的な視点について理解するとともに、意図に応じて表現方法を工夫して表すことができるようにする。(高1段階) (思判表力)造形的なよさや美しさ、表現の意図と工夫などについて考え、主題を生み出し豊かに発想し構想を練ったり、美術や美術文化などに対する見方や感じ方を広げたりすることができるようにする。(高1段階) (学・人)楽しく美術の活動に取り組み創造活動の喜びを味わい、美術を愛好する心情を培い、心豊かな生活を創造していく態度を養う。(高1段階)				
学期	時数	単元・題材の目標	単元・題材の評価規準	単元・題材名	単元・題材の活動内容
1 学期	6	(知及技) 材料や用具の特性の生かし方などを身につけ、意図に応じて表現方法を工夫して表すことができる。(高1段階A表現(イ)) (思判表力) 対象や物事を見つめ感じ取ったことや考えたこと、伝えたり使ったりする目的や条件などを基に主題を生み出し、構成を創意工夫し、心豊かに表現する構成を練ることができる。(高1段階A表現(ア)) (学・人) 主体的・協働的に制作や鑑賞に取り組むことができる。(高1段階)	(知・技) 材料や用具の特性の生かし方などを身につけ、意図に応じて表現方法を工夫して表そうとしている。 (思・判・表) よさや美しさを感じ取り、作者の心情や表現の意図と工夫などについて考え、見方や感じ方を広げようとしている。 (主学) 主体的・協働的に制作や鑑賞に取り組もうとしている。	「自己紹介ネームカード」	・自己紹介カードを制作する。 ・制作した作品の発表をする。 ・制作した作品の鑑賞をする。
		(知及技) 形や色彩、材料や光などの動きを理解することができる。(高1段階 共通事項(ア)) (思判表力) 美術作品などの造形的なよさや美しさを感じ取り、作者の心情や表現の意図と工夫などについて考えるなどして、見方や感じ方を広げることができる。(高1段階B鑑賞(ア)) (学・人) 主体的・協働的に制作や鑑賞に取り組むことができる。(高1段階)	(知・技) 形や色彩、材料や光などの動きを理解しようとしている。 (思・判・表) (思・判・表)美術作品などの造形的なよさや美しさを感じ取り、作者の心情や表現の意図と工夫などについて考えるなどして、見方や感じ方を広げようとしている。 (主学) 主体的・協働的に制作や鑑賞に取り組もうとしている。	「いろいろな技法」	・技法について学ぶ。 ・制作した作品を鑑賞する。
2 学期	7	(知及技) 形や色彩、材料や光などの動きを理解することができる。(高1段階 共通事項(ア)) (思判表力) 美術作品などの造形的なよさや美しさを感じ取り、作者の心情や表現の意図と工夫などについて考えるなどして、見方や感じ方を広げることができる。(高1段階B鑑賞(ア)) (学・人) 主体的・協働的に制作や鑑賞に取り組むことができる。(高1段階)	(知・技) 対象や事象を見つめ、構成を創意工夫し、表現する構成を練ろうとしている。 (思・判・表) 美術作品などの造形的なよさや美しさを感じ取り、作者の心情や表現の意図と工夫などについて考えるなどして、見方や感じ方を広げようとしている。	「コラージュ」	・いろいろな技法から形を切り取り新しく作品を制作する。 ・制作した作品の発表をする。 ・制作した作品の鑑賞をする。
		(知及技) 材料や用具の特性の活かし方などを身につけ、意図に応じて表現方法を工夫して表すことができる。(高1段階) (思判表力) 生活の中の美術や文化遺産などのよさや美しさを感じ取り、生活を美しく豊かにする美術の動きや美術文化について考えるなどして見方や感じ方を広げることができる。(高1段階B鑑賞(イ)) (学・人) 主体的・協働的に制作や鑑賞に取り組むことができる。(高1段階)	(知・技) 材料や用具の特性の活かし方などを身につけ、意図に応じて表現方法を工夫しようとしている。 (思・判・表) 生活の中の美術や文化遺産などのよさや美しさを感じ取り、生活を美しく豊かにする美術の動きや美術文化について考えるなどして見方や感じ方を広げようとしている。 (主学) 主体的・協働的に制作や鑑賞に取り組もうとしている。	「クリスマスカード制作」	・クリスマスカードの制作をする。 ・制作した作品の発表をする。 ・制作した作品の鑑賞をする。
3 学期	4.5	(知及技) 対象や事象を見つめ感じ取ったことを表現できるような鑑賞方法を身に付けることができる。(高1段階) (思判表力) 美術作品などの造形的なよさや美しさを感じ取り、作者の心情や表情の意図と工夫などについて考え、見方や感じ方を広げることができる。(高1段階B鑑賞(ア)) (学・人) 主体的・協働的に制作や鑑賞に取り組むことができる。(高2段階)	(知・技) 対象や事象を見つめ感じ取ったことを表現できるような鑑賞方法を身に付けようとしている。 (思・判・表) 美術作品などの造形的なよさや美しさを感じ取り、作者の心情や表情の意図と工夫などについて考え、見方や感じ方を広げようとしている。 (主学) 主体的・協働的に制作や鑑賞に取り組もうとしている。	「鑑賞」	・各名画について学ぶ。 ・ゴッホ ・ルノアール ・モネ ・ダヴィンチ ・シャガール
		(知及技) 材料や用具の特性の生かし方などを身につけ、意図に応じて表現方法を工夫して表すことができる。(高1段階A表現(イ)) (思判表力) 造形的な特徴などから全体のイメージで捉えることを理解することができる。(高1段階共通事項(イ)) (学・人) 主体的・協働的に制作や鑑賞に取り組むことができる。(高1段階)	(知・技) 材料や用具の特性の生かし方などを身につけ、意図に応じて表現方法を工夫して表そうとしている。 (思・判・表) 造形的な特徴などから全体のイメージで捉えることを理解しようとしている。 (主学) 主体的・協働的に制作や鑑賞に取り組もうとしている。	「模写」	・各名画を模写する。 ・制作した作品の発表をする。 ・制作した作品の鑑賞をする。
総時数	17.5				

単位数 /配当時 数	児童生徒		担当者		
0.5 /17.5	高等部1年訪問Ⅱ課程				
目標：(知及技)知識及び技能 (思判表力)思考力、判断力、表現力等 (学・人)学びに向かう力・人間性等 評価：(知・技)知識・技能 (思・判・表)思考・判断・表現 (主学)主体的に学習に取り組む態度					
年間目標 (知及技)各種の運動の楽しさや喜びを味わい、その特性に応じた技能等や心身の発育・発達、個人生活に必要な健康・安全に関する事柄などを理解するとともに、技能を身に付けるようにする。(高1段階) (思判表力)各種の運動や健康・安全な生活を営むための自他の課題を発見し、その解決のための方策を工夫したり、仲間と考えたりしたことを、他者に伝える力を養う。(高1段階) (学・人)各種の運動における多様な経験を通して、きまりやルール、マナーなどを守り、仲間と協力したり、場や用具の安全を確保したりし、自己の最善を尽くして自主的に運動をする態度を養う。また、健康・安全に留意し、健康の保持増進と回復に積極的に取り組む態度を養う。(高1段階)					
学期	時数	単元・題材の目標	単元・題材の評価規準	単元・題材名	単元・題材の活動内容
1 学期	6	(知及技)心身の発育・発達、傷害の防止及び疾病の予防等を理解するとともに、健康で安全な個人生活を営むための技能を身に付けることができる。(高1段階1ア) (思判表力)健康・安全に関わる自他の課題を発見し、その解決のための方策を工夫したり、仲間と考えたりしたことを他者に伝えることができる。(高1段階1イ) (学・人)健康・安全に留意し、健康の保持増進と回復に積極的に取り組むことができる。(高1段階1ウ)	(知・技)心身の発育・発達、傷害の防止及び疾病の予防等を理解するとともに、健康で安全な個人生活を営むための技能を身に付けようとしている。 (思・判・表)健康・安全に関わる自他の課題を発見し、その解決のための方策を工夫したり、仲間と考えたりしたことを他者に伝えようとしている。 (主学)健康・安全に留意し、健康の保持増進と回復に積極的に取り組もうとしている。	「保健」 (4～7月) 「交通事故や自然災害などによる傷害発生要因」 「交通事故などによる傷害の防止」 「身体環境に対する適応能力・至適範囲」	・安全に登校するための交通ルールとマナー ・人的要因や環境要因などの関わりによる傷害の発生 ・安全な行動 ・身体環境を超えた環境の健康への影響 ・快適で能率のよい生活ができる環境の範囲 ・熱中症対策
2 学期	7	(知及技)心身の発育・発達、傷害の防止及び疾病の予防等を理解するとともに、健康で安全な個人生活を営むための技能を身に付けることができる。(高1段階1ア) (思判表力)健康・安全に関わる自他の課題を発見し、その解決のための方策を工夫したり、仲間と考えたりしたことを他者に伝えることができる。(高1段階1イ) (学・人)健康・安全に留意し、健康の保持増進と回復に積極的に取り組むことができる。(高1段階1ウ)	(知・技)心身の発育・発達、傷害の防止及び疾病の予防等を理解するとともに、健康で安全な個人生活を営むための技能を身に付けようとしている。 (思・判・表)健康・安全に関わる自他の課題を発見し、その解決のための方策を工夫したり、仲間と考えたりしたことを他者に伝えようとしている。 (主学)健康・安全に留意し、健康の保持増進と回復に積極的に取り組もうとしている。	「保健」 (9～12月) 「生活習慣病と健康」 「生活習慣病などの予防」 「交通事故や自然災害などによる傷害発生要因」	・運動、食事、休養及び睡眠の調和のとれた生活の継続 ・生活習慣の乱れ ・自然災害では台風、高潮、大雨洪水、雷、竜巻について学習する。(水難事故も含む) ・人的要因や環境要因などの関わりによる傷害の発生 ・安全な行動
		(知及技)心身の発育・発達、傷害の防止及び疾病の予防等を理解するとともに、健康で安全な個人生活を営むための技能を身に付けることができる。(高1段階1ア) (思判表力)健康・安全に関わる自他の課題を発見し、その解決のための方策を工夫したり、仲間と考えたりしたことを他者に伝えることができる。(高1段階1イ) (学・人)健康・安全に留意し、健康の保持増進と回復に積極的に取り組むことができる。(高1段階1ウ)	(知・技)心身の発育・発達、傷害の防止及び疾病の予防等を理解するとともに、健康で安全な個人生活を営むための技能を身に付けようとしている。 (思・判・表)健康・安全に関わる自他の課題を発見し、その解決のための方策を工夫したり、仲間と考えたりしたことを他者に伝えようとしている。 (主学)健康・安全に留意し、健康の保持増進と回復に積極的に取り組もうとしている。	「保健」 (1～3月) 「身体機能の発達」 「生殖に関わる機能の成熟」	・器官が発育し機能が発達する時期 ・発育、発達の個人差 ・成熟に伴う適切な行動
総時数	17.5				

単位数 /配当時 数	児童生徒		担当者		
0.5 /17.5	高等部1年訪問Ⅱ課程				
目標：(知及技)知識及び技能 (思判表力)思考力、判断力、表現力等 (学・人)学びに向かう力・人間性等 評価：(知・技)知識・技能 (思・判・表)思考・判断・表現 (主学)主体的に学習に取り組む態度					
(知及技)自然の事物・現象についての基本的な理解を図り、観察、実験などに関する初歩的な技能を体験する。(高1段階) (思判表力)観察、実験などを行い、解決の方法を考える力を養う。(高1段階) 年間目標 (学・人)自然を愛する心情を養うとともに、学んだことを主体的に生活に生かそうとする態度を養う。(高1段階)					
学期	時数	単元・題材の目標	単元・題材の評価規準	単元・題材名	単元・題材の活動内容
1 学期	6	(知及技)植物の発芽、成長及び結実とそれらに関わる条件について理解するとともに、観察、実験などに関する初歩的な技能を身につけることができる。(高1段階Aア) (思判表力)発芽、成長及び結実に関わる条件に気付き、それらを制御し、予想や仮説を確かめる方法を理解したり、検討したりして、その結果を捉えようことができる。(高1段階Aア(イ)) (学・人)植物の発芽、成長及び結実について学んだことを、様々な生活場面に当てはめて考えようとしたり、行動しようとしたりすることができる。(高1段階ウ)	(知・技)植物の発芽、成長及び結実とそれらに関わる条件について理解しようとしているとともに、観察、実験などに関する初歩的な技能を身につけようとしている。 (思・判・表)発芽、成長及び結実に関わる条件に気付き、それらを制御し、予想や仮説を確かめる方法を理解しようとしたり、検討したりして、その結果を捉えようとしている。 (主学)植物の発芽、成長及び結実について学んだことを、様々な生活場面に当てはめて考えようとしたり、行動しようとしている。	「植物の発芽、成長、結実」(4、5月) ・発芽の条件 ・成長の条件 ・植物の受粉と結実 ・沖縄で見られる植物	・発芽の条件について予想し、観察する。 (ホウセンカの種まき) ・成長の条件について予想し、観察する。 (ホウセンカの栽培) ・植物の受粉・結実の様子を観察する。 (ハイビスカスの花の観察)
		(知及技)流れる水には、浸食、運搬、堆積の働きがあること、川の上流と下流によって、川原の石の大きさや形に違いがあることを理解するとともに、観察・実験などに関する初歩的な技能を身につけることができる。(高1段階Bア(ア)) (思判表力)流れる水の働きと土地の変化との関係についての予想や仮説を基に、解決の方法を考え、表現することができる。(高1段階Bア(イ)) (学・人)流れる水の働きについて、学んだことを様々な生活場面に当てはめて考えようとしたり、行動しようとしたりすることができる。(高1段階ウ)	(知・技)流れる水には、浸食、運搬、堆積の働きがあること、川の上流と下流によって、川原の石の大きさや形に違いがあることを理解しようとしているとともに、観察・実験などに関する初歩的な技能を身につけようとしている。 (思・判・表)流れる水の働きと土地の変化との関係についての予想や仮説を基に、解決の方法を考え、表現しようとしている。 (主学)流れる水の働きについて、学んだことを様々な生活場面に当てはめて考えようとしたり、行動しようとしている。	「流れる水の働きと土地の変化」(6、7月) ・浸食、運搬、堆積 ・川原の石の大きさと形 ・沖縄の川、ダム	・水の量を変えて、流れる水の働きを調べる。(流れる土の量を比較する。カーブの内側と外側を比較する。) ・川の浸食、運搬、堆積 ・川の上流と下流と川原の石を比較する。
2 学期	7	(知及技)天気の変化は、雲の量や動きと関係があること、映像などの気象情報を用いて予想できることを理解するとともに、観察・実験などに関する初歩的な技能を身につけることができる。(高1段階Bイ(ア)) (思判表力)天気の変化の仕方と雲の量や動きとの関係についての予想や仮説を基に、解決の方法を考え、表現することができる。(高1段階Bイ(イ)) (学・人)天気の変化について学んだことを、様々な生活場面に当てはめて考えようとしたり、行動しようとしたりすることができる。(高1段階ウ)	(知・技)天気の変化は、雲の量や動きと関係があること、映像などの気象情報を用いて予想できることを理解しようとしているとともに、観察・実験などに関する初歩的な技能を身につけようとしている。 (思・判・表)天気の変化の仕方と雲の量や動きとの関係についての予想や仮説を基に、解決の方法を考え、表現しようとしている。 (主学)天気の変化について学んだことを、様々な生活場面に当てはめて考えようとしたり、行動しようとしている。	「天気の変化」(9、10月) ・雲と天気の変化 ・天気の変化の予想 ・沖縄の気候	・雲の様子と天気の変化を調べる。(衛星写真を見て、天気を予想する。) ・雲の種類(10)を紹介する。
		(知及技)乾電池の数やつなぎ方を変えると、電流の大きさや向きが変わることを理解するとともに、観察・実験などに関する初歩的な技能を身につけることができる。(高1段階Cイ(ア)) (思判表力)電流の大きさや向きと乾電池につないだ物の様子との関係についての予想や仮説を基に、解決の方法を考え、表現することができる。(高1段階Cイ(イ)) (学・人)電流の働きについて学んだことを、様々な生活場面に当てはめて考えようとしたり、行動しようとしたりすることができる。(高1段階ウ)	(知・技)乾電池の数やつなぎ方を変えると、電流の大きさや向きが変わることを理解しようとしているとともに、観察・実験などに関する初歩的な技能を身につけようとしている。 (思・判・表)電流の大きさや向きと乾電池につないだ物の様子との関係についての予想や仮説を基に、解決の方法を考え、表現しようとしている。 (主学)電流の働きについて学んだことを、様々な生活場面に当てはめて考えようとしたり、行動しようとしている。	「電流の働き」(1～3月) ・電流 ・直列つなぎ ・並列つなぎ	・電流の生み出す力について学ぶ。 (乾電池の数やつなぎ方によるモーターの速さ・回転の向き、電球の明るさを比較する。)
総時数	17.5				